

第6次高松市総合計画（仮称）策定に関する アンケート調査 報告書

平成27年3月

目次

1. アンケート調査の概要	2
2. 回答者の属性	4
3. 分析結果(総括)	11
4. 分析結果(施策別)	25
5. 分析結果(少子高齢化への不安)	56
6. 分析結果(自由意見)	59

アンケート調査の概要

アンケート調査の概要

調査目的	総合計画策定にあたり、総合計画の施策目標の妥当性等について市民アンケートを実施し、市民の市政に対する評価とこれからのまちづくりに対するニーズを統計的に把握し、各施策の方針や今後の市政運営に反映させる。																		
調査期間	平成27年1月13日(火)～1月26日(月)																		
調査対象	高松市内在住の満18歳以上の市民4,200人																		
抽出方法	住民基本台帳に基づく無作為抽出																		
調査方法	郵送																		
回収状況	<table border="1"><thead><tr><th></th><th>A票</th><th>B票</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>配布件数</td><td>2,100件</td><td>2,100件</td><td>4,200件</td></tr><tr><td>回収件数</td><td>943件</td><td>944件</td><td>1,887件</td></tr><tr><td>回収率</td><td>44.9%</td><td>45.0%</td><td>44.9%</td></tr></tbody></table>				A票	B票	合計	配布件数	2,100件	2,100件	4,200件	回収件数	943件	944件	1,887件	回収率	44.9%	45.0%	44.9%
	A票	B票	合計																
配布件数	2,100件	2,100件	4,200件																
回収件数	943件	944件	1,887件																
回収率	44.9%	45.0%	44.9%																

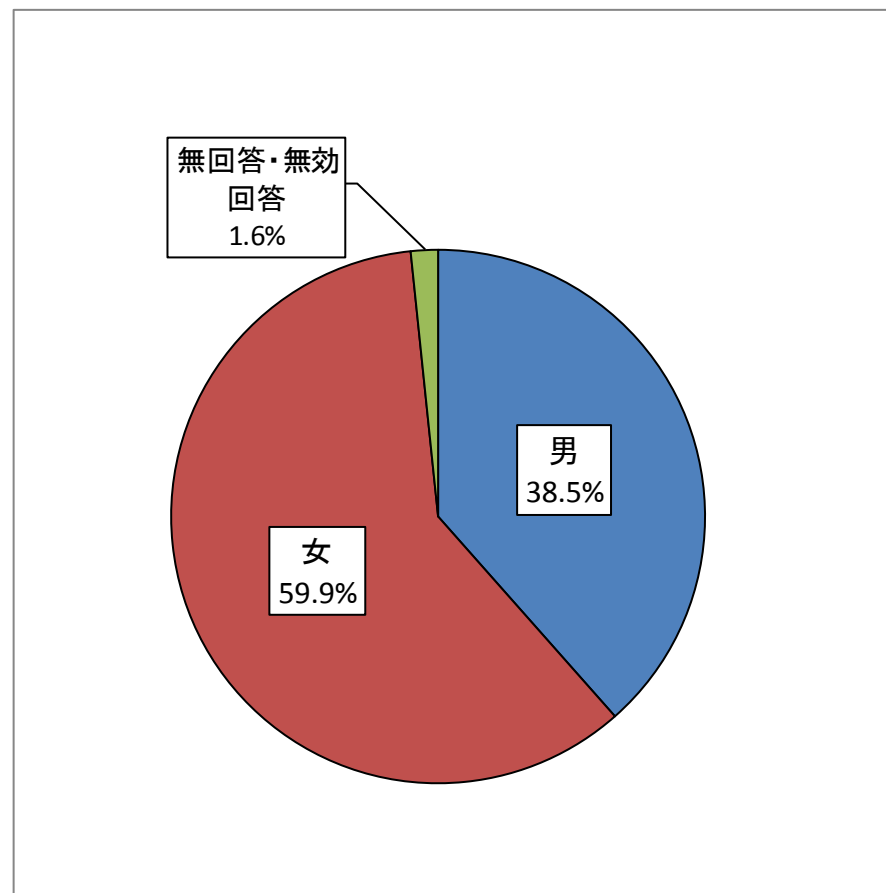
回答者の属性

回答者の属性 1／6

女性の回答率が、男性の回答率よりも高い結果となった。

(1) 性別

選択肢	A票	B票	合計	
	回答数	回答数	回答数	割合
男	372	354	726	38.5%
女	551	579	1,130	59.9%
無回答・無効回答	20	11	31	1.6%
合計	943	944	1,887	100.0%

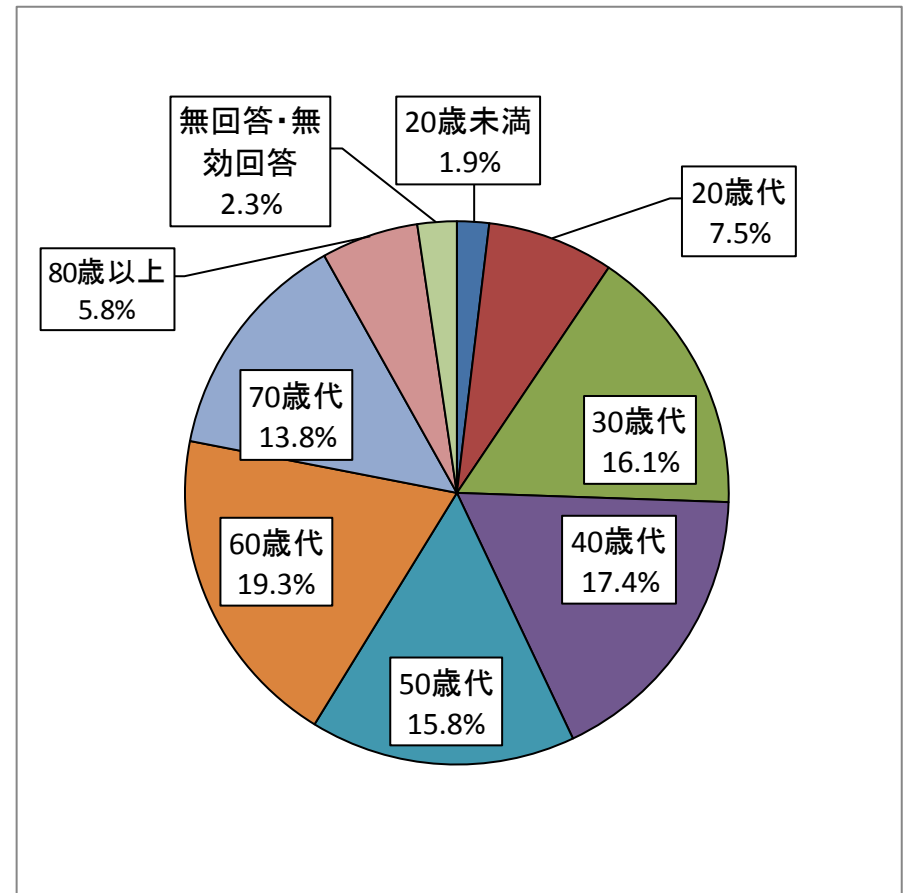


回答者の属性 2/6

20歳代と、80歳以上の割合は他の年代と比べて低いものの、各世代からバランス良く回答が得られた。

(2) 年齢

年代	A票	B票	合計	
	回答数	回答数	回答数	割合
20歳未満	17	19	36	1.9%
20歳代	73	69	142	7.5%
30歳代	149	155	304	16.1%
40歳代	172	157	329	17.4%
50歳代	154	144	298	15.8%
60歳代	173	191	364	19.3%
70歳代	125	136	261	13.8%
80歳以上	50	59	109	5.8%
無回答・無効回答	30	14	44	2.3%
合計	943	944	1,887	100.0%

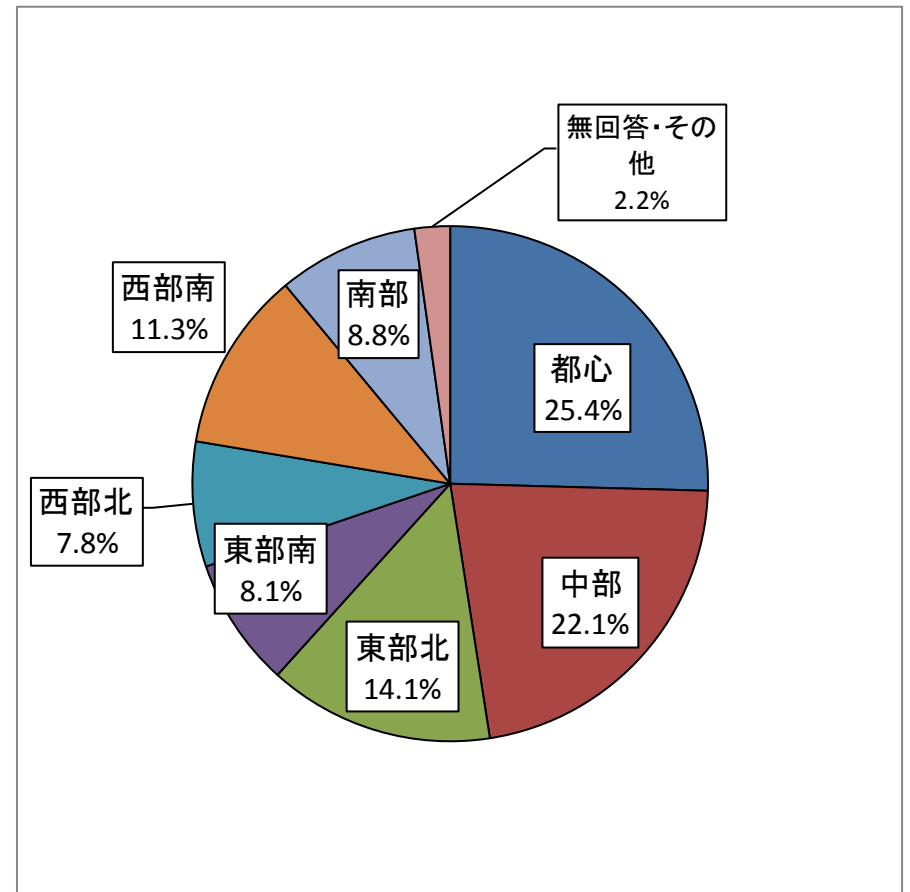


回答者の属性 3/6

居住地によって割合の差はあるものの、各居住地からバランスよく回答が得られた。

(3) 居住地

居住地	A票	B票	合計	
	回答数	回答数	回答数	割合
都心	243	237	480	25.4%
中部	214	203	417	22.1%
東部北	135	132	267	14.1%
東部南	77	76	153	8.1%
西部北	72	76	148	7.8%
西部南	100	114	214	11.3%
南部	76	90	166	8.8%
無回答・その他	26	16	42	2.2%
合計	943	944	1,887	100.0%

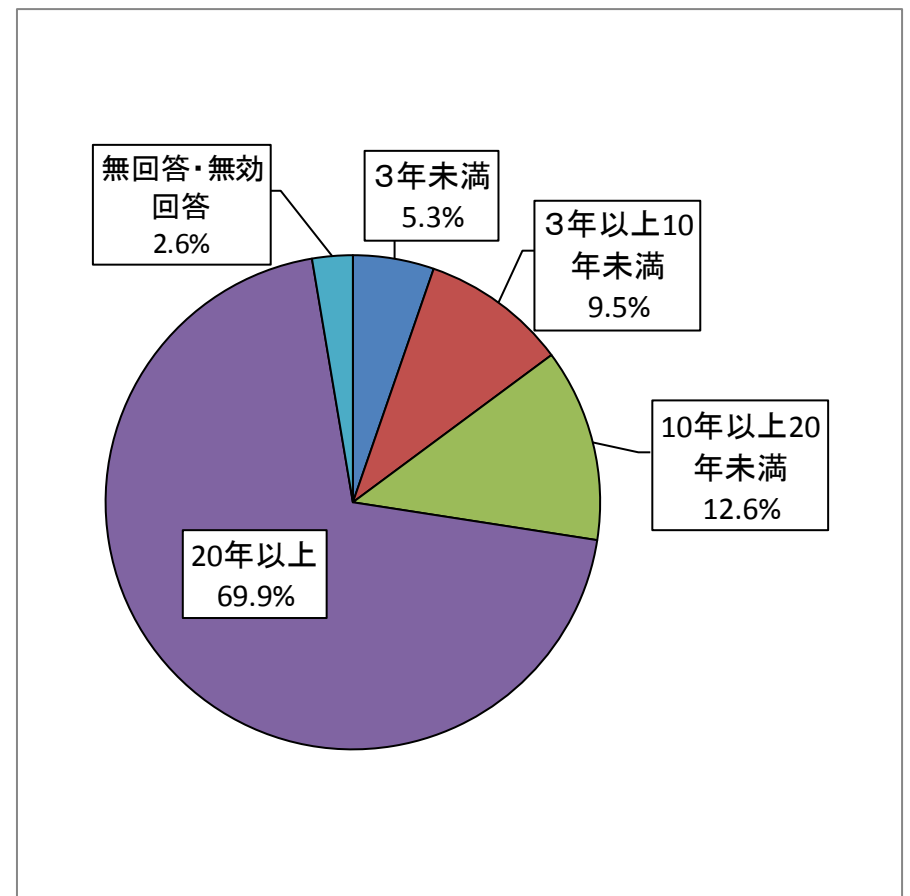


回答者の属性 4/6

居住年数20年以上の割合が69.9%を占める結果となった。市民全体の傾向として、居住年数の20年以上の人口が多いことによるものと考えられる。

(4) 高松市(合併前地域を含む)での居住年数

選択肢	A票	B票	合計	
	回答数	回答数	回答数	割合
3年未満	50	50	100	5.3%
3年以上10年未満	100	80	180	9.5%
10年以上20年未満	113	125	238	12.6%
20年以上	653	666	1,319	69.9%
無回答・無効回答	27	23	50	2.6%
合計	943	944	1,887	100.0%

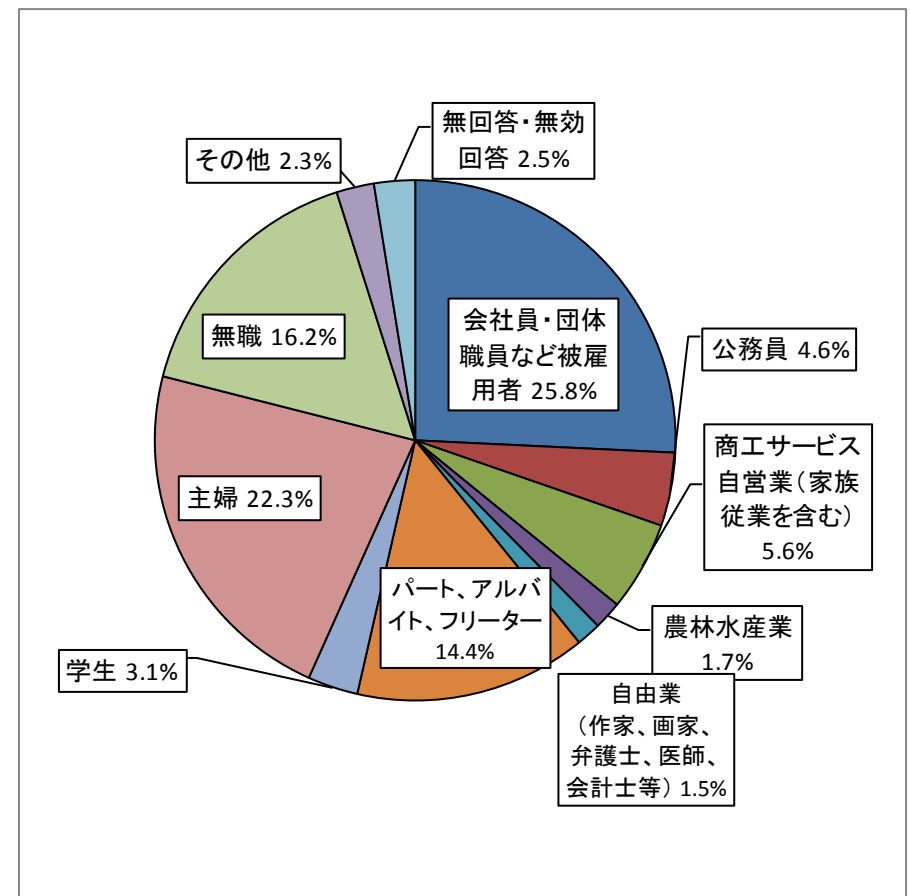


回答者の属性 5/6

会社員・団体職員など被雇用者と主婦の割合が比較的高い結果となった。市民全体の傾向と概ね整合していると考えられる。

(5) 職業

選択肢	A票	B票	合計	
	回答数	回答数	回答数	割合
会社員・団体職員など被雇用者	249	237	486	25.8%
公務員	40	46	86	4.6%
商工サービス自営業(家族従業を含む)	55	50	105	5.6%
農林水産業	19	14	33	1.7%
自由業 (作家、画家、弁護士、医師、会計士等)	20	9	29	1.5%
パート、アルバイト、フリーター	133	139	272	14.4%
学生	29	30	59	3.1%
主婦	195	225	420	22.3%
無職	149	156	305	16.2%
その他	25	19	44	2.3%
無回答・無効回答	29	19	48	2.5%
合計	943	944	1,887	100.0%

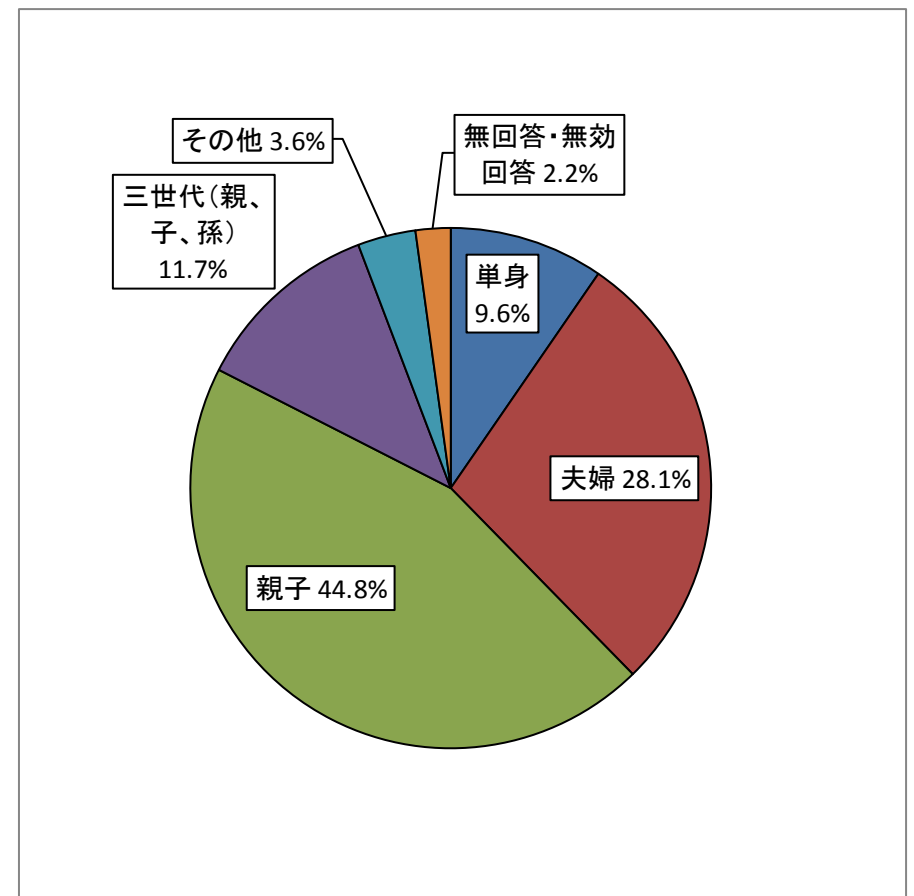


回答者の属性 6/6

親子、夫婦で過半数を占める結果となった。市民全体の傾向と概ね整合していると考えられる。

(6) 家族構成

選択肢	A票	B票	合計	
	回答数	回答数	回答数	割合
単身	95	86	181	9.6%
夫婦	259	271	530	28.1%
親子	416	430	846	44.8%
三世代(親、子、孫)	119	102	221	11.7%
その他	30	38	68	3.6%
無回答・無効回答	24	17	41	2.2%
合計	943	944	1,887	100.0%



分析結果(総括)

質問一覧

A票	施策	目指す姿	B票	施策	目指す姿
問1	学校教育について	子どもたちの確かな学力と、豊かな心と体を育成するとともに、教員の資質の向上と教育指導体制を充実させます。	問1	学校教育環境について	子どもたちが、学校において、安全・安心に、健康的で、快適に学習・生活できる教育環境を整備します。
問2	家庭・地域の教育力について	家庭・地域・学校が連携し、地域ぐるみで子どもの健やかな成長を促す教育力を向上させます。	問2	青少年の育成について	青少年の健やかな成長に必要な支援環境の充実を図ります。
問3	子どもの安全について	学校、家庭、地域及び関係機関が連携し、子どもたちを事件、事故、災害等から守ります。	問3	廃棄物の減量と再資源化について	省資源・省エネルギーの観点から、廃棄物の減量と再資源化を推進します。
問4	一般廃棄物の処理について	環境負荷の少ない循環型社会を目指し、一般廃棄物(し尿を含む)を適正に処理します。	問4	産業廃棄物の処理について	環境負荷の少ない循環型社会を目指し、産業廃棄物の適正処理を促進します。
問5	不法投棄について	市民団体や地域、関係機関と連携し、不法投棄のないまちを構築します。	問5	身近な道路環境について	市民が、安全で安心して利用できる身近な道路(橋りょう含む)環境を整備します。
問6	水の供給について	持続可能な水環境を形成するとともに、安全で良質な水を安定的に供給します。	問6	防災・減災対策について	市民の防災意識を高めるとともに、地域及び国・県等防災関係機関と連携し、防災・減災対策を充実させます。
問7	防犯体制について	防犯意識を高めるとともに、地域が主体となった防犯体制を整備します。	問7	交通安全対策について	交通安全の意識を高めるとともに、道路の通行環境を整備し、安全対策を充実させます。
問8	子どもの成長について	全ての子どもの健やかな成長を社会全体で支え、子どもを産み育てやすいまちづくりを推進します。	問8	子育て家庭への支援について	全ての子育て家庭が、心身ともにゆとりをもって子育てができる環境を整えます。
問9	医療体制について	地域医療の連携を図り、誰もが住み慣れた地域において、良質な医療の提供を受けられる体制を充実させます。	問9	社会保障制度の運営について	市民が安心して医療・介護・年金を受けることができる社会保障制度を適切に運営します。
問10	生活困窮者等への支援について	生活困窮者等が経済的・日常的・社会的に早期に自立できるよう支援します。	問10	活力ある商工業について	中小企業振興施策や中央商店街のにぎわいづくりを推進し、地域を支える商工業を振興させます。
問11	農林水産業について	農業と農地を地域で守り育て、安全・安心で良質な農水産物の生産を振興するとともに、森林を整備保全します。	問11	いきいきと働ける環境について	就業者が長く働き続けられる、安定した魅力ある就業環境を充実させます。
問12	拠点性を高める交通網について	中枢拠点都市としての機能を発揮できる陸海空の交通網の整備を推進します。	問12	拠点性を高める道路ネットワークについて	中枢拠点都市としての道路交通の円滑化・安全性などの向上を目指し、都市計画道路のネットワークを強化します。
問13	中心市街地について	本市を中心とした圏域の経済を牽引する中心市街地の活性化を図ります。	問13	公共交通の利便性について	市民の活動を支える多様な移動手段を創出するとともに、快適な公共交通を確保します。
問14	自転車の利用環境について	地球環境にやさしく機動性に優れた自転車を、人々が安全で快適に利用できる環境を向上させます。	問14	多核連携型コンパクト・エコシティについて	人口減少、少子・超高齢社会においても、活力を失わず、市民がいきいきと暮らせる、コンパクトで持続可能なまちづくりを推進します。
問15	高松市役所の職員力について	市民から信頼される職員を目指し、職員の意識改革と資質の向上を図ります。	問15	行財政運営について	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化に的確に対応できる、効率的で効果的な行財政運営を推進します。

分析結果(総括)

～A票～

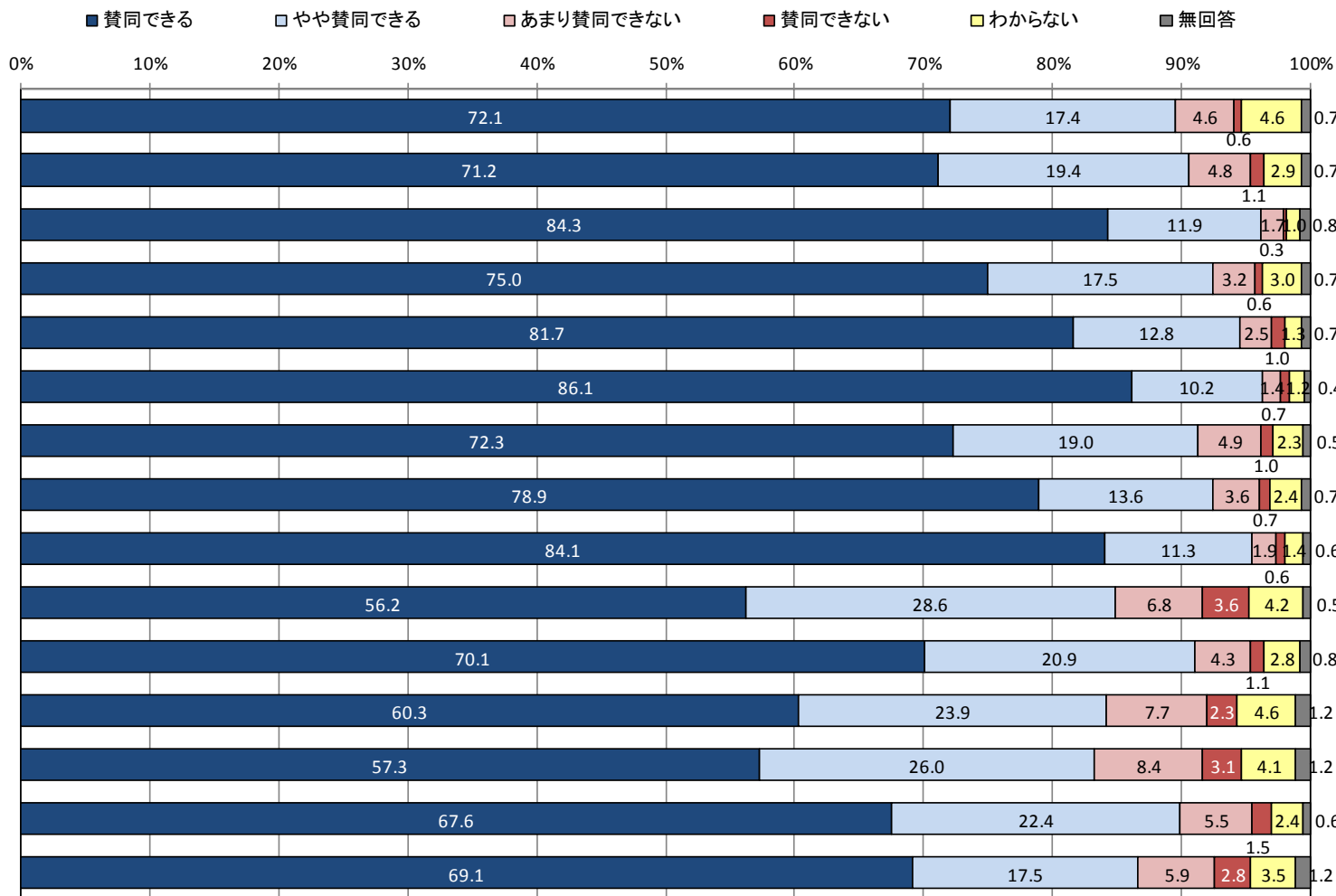
A票 目指す姿に対する考え方 1/3

すべての施策に対し肯定的な意見が多数を占めている。

	テーマ	目指す姿	賛同できる	やや賛同できる	あまり賛同できない	賛同できない	わからない	無回答
問1	学校教育について	子どもたちの確かな学力と、豊かな心と体を育成するとともに、教員の資質の向上と教育指導体制を充実させます。	72.1%	17.4%	4.6%	0.6%	4.6%	0.7%
問2	家庭・地域の教育力について	家庭・地域・学校が連携し、地域ぐるみで子どもの健やかな成長を促す教育力を向上させます。	71.2%	19.4%	4.8%	1.1%	2.9%	0.7%
問3	子どもの安全について	学校、家庭、地域及び関係機関が連携し、子どもたちを事件、事故、災害等から守ります。	84.3%	11.9%	1.7%	0.3%	1.0%	0.8%
問4	一般廃棄物の処理について	環境負荷の少ない循環型社会を目指し、一般廃棄物(し尿を含む)を適正に処理します。	75.0%	17.5%	3.2%	0.6%	3.0%	0.7%
問5	不法投棄について	市民団体や地域、関係機関と連携し、不法投棄のないまちを構築します。	81.7%	12.8%	2.5%	1.0%	1.3%	0.7%
問6	水の供給について	持続可能な水環境を形成するとともに、安全で良質な水を安定的に供給します。	86.1%	10.2%	1.4%	0.7%	1.2%	0.4%
問7	防犯体制について	防犯意識を高めるとともに、地域が主体となった防犯体制を整備します。	72.3%	19.0%	4.9%	1.0%	2.3%	0.5%
問8	子どもの成長について	全ての子どもの健やかな成長を社会全体で支え、子どもを産み育てやすいまちづくりを推進します。	78.9%	13.6%	3.6%	0.7%	2.4%	0.7%
問9	医療体制について	地域医療の連携を図り、誰もが住み慣れた地域において、良質な医療の提供を受けられる体制を充実させます。	84.1%	11.3%	1.9%	0.6%	1.4%	0.6%
問10	生活困窮者等への支援について	生活困窮者等が経済的・日常的・社会的に早期に自立できるよう支援します。	56.2%	28.6%	6.8%	3.6%	4.2%	0.5%
問11	農林水産業について	農業と農地を地域で守り育て、安全・安心で良質な農水産物の生産を振興するとともに、森林を整備保全します。	70.1%	20.9%	4.3%	1.1%	2.8%	0.8%
問12	拠点性を高める交通網について	中枢拠点都市としての機能を発揮できる陸海空の交通網の整備を推進します。	60.3%	23.9%	7.7%	2.3%	4.6%	1.2%
問13	中心市街地について	本市を中心とした圏域の経済を牽引する中心市街地の活性化を図ります。	57.3%	26.0%	8.4%	3.1%	4.1%	1.2%
問14	自転車の利用環境について	地球環境にやさしく機動性に優れた自転車を、人々が安全で快適に利用できる環境を向上させます。	67.6%	22.4%	5.5%	1.5%	2.4%	0.6%
問15	高松市役所の職員力について	市民から信頼される職員を目指し、職員の意識改革と資質の向上を図ります。	69.1%	17.5%	5.9%	2.8%	3.5%	1.2%

A票 目指す姿に対する考え方 2/3

すべての施策に対し肯定的な意見が多数を占めている。問3、問6、問9の賛同が多く得られており、問10、問12、問13の賛同が他の施策に比べて低い。



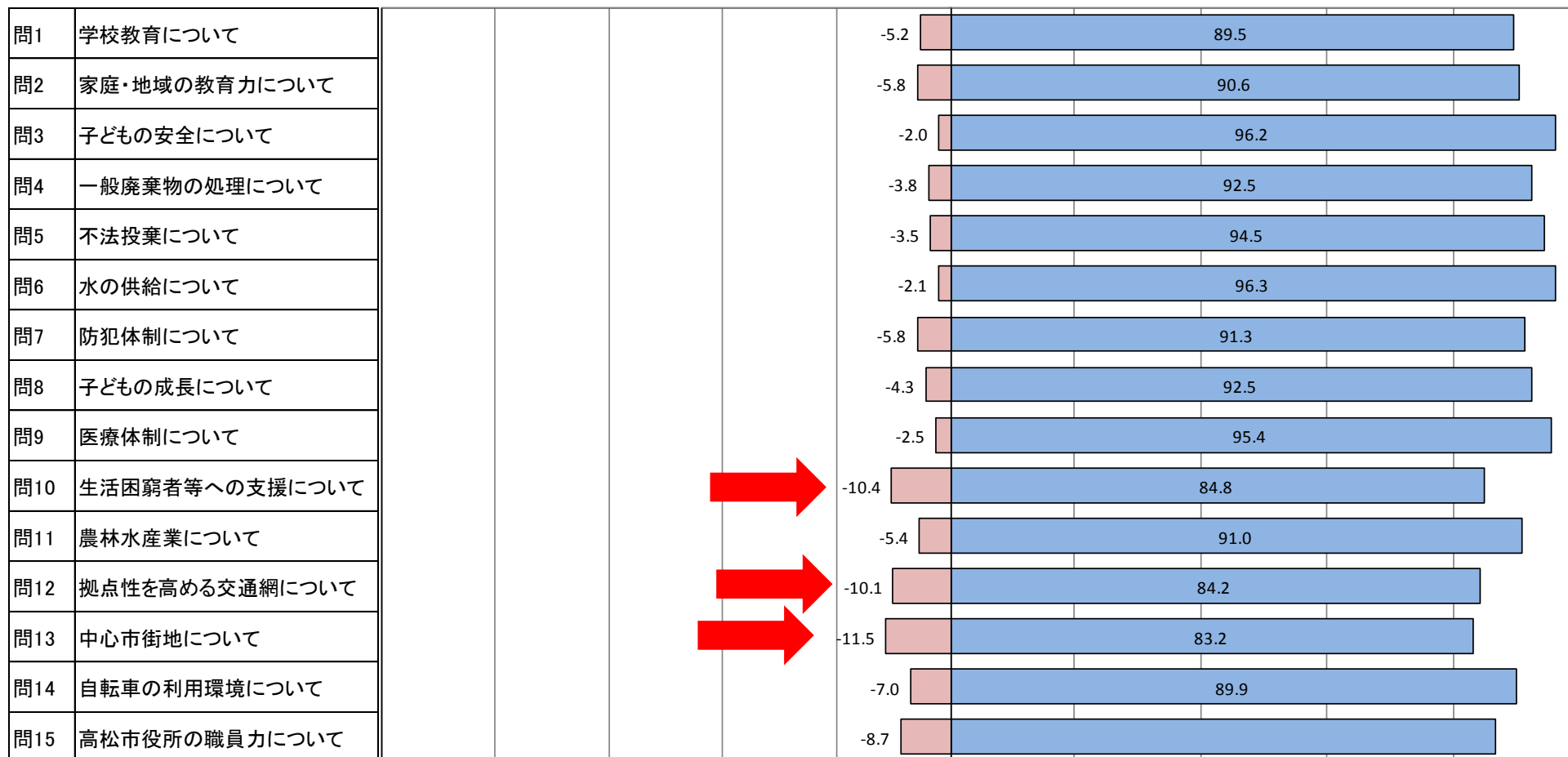
n=943

A票 目指す姿に対する考え方 3/3

問10、問12、問13否定的意見が10%を超えている。

目指す姿への賛否「(賛同できる+やや賛同できる)→プラス」、「(あまり賛同できない+賛同できない)→マイナス」

-100.0 -80.0 -60.0 -40.0 -20.0 0 20.0 40.0 60.0 80.0 100.0



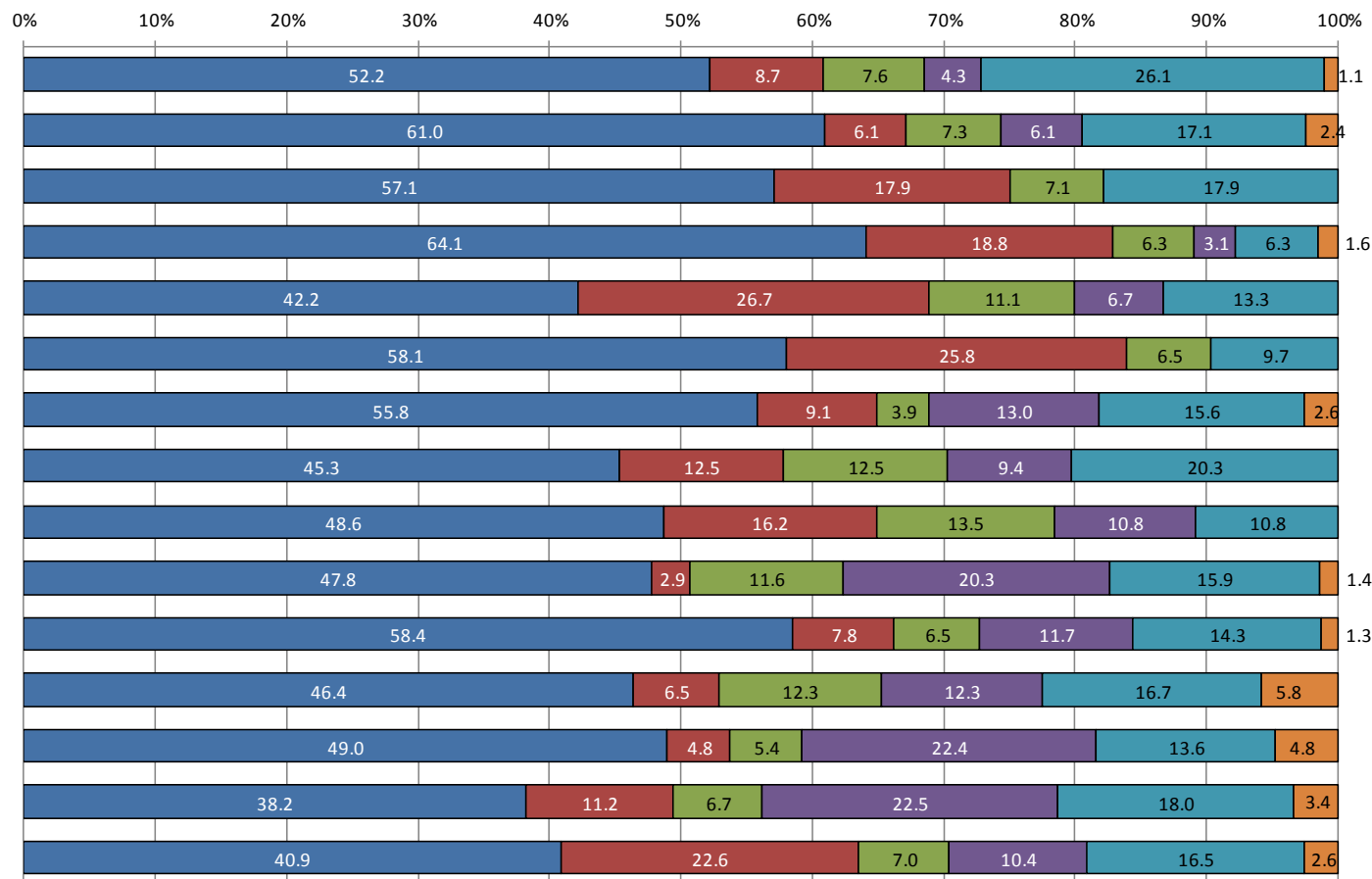
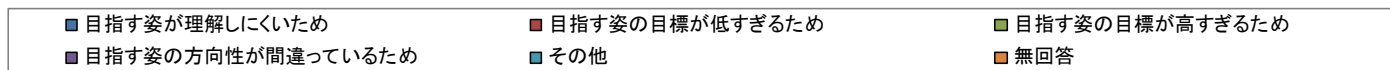
A票 目指す姿に「あまり賛同できない」「賛同できない」「わからない」と回答した理由 1/2

全体として「目指す姿が理解しにくい」と回答した割合が高い。

	テーマ	目指す姿	目指す姿が理解しにくい ため	目指す姿の目標が低すぎる ため	目指す姿の目標が高すぎる ため	目指す姿の方向性が間違っ ているため	その他	無回答
問1	学校教育について	子どもたちの確かな学力と、豊かな心と体を育成するとともに、教員の資質の向上と教育指導体制を充実させます。	52.2%	8.7%	7.6%	4.3%	26.1%	1.1%
問2	家庭・地域の教育力について	家庭・地域・学校が連携し、地域ぐるみで子どもの健やかな成長を促す教育力を向上させます。	61.0%	6.1%	7.3%	6.1%	17.1%	2.4%
問3	子どもの安全について	学校、家庭、地域及び関係機関が連携し、子どもたちを事件、事故、災害等から守ります。	57.1%	17.9%	7.1%	0.0%	17.9%	0.0%
問4	一般廃棄物の処理について	環境負荷の少ない循環型社会を目指し、一般廃棄物(し尿を含む)を適正に処理します。	64.1%	18.8%	6.3%	3.1%	6.3%	1.6%
問5	不法投棄について	市民団体や地域、関係機関と連携し、不法投棄のないまちを構築します。	42.2%	26.7%	11.1%	6.7%	13.3%	0.0%
問6	水の供給について	持続可能な水環境を形成するとともに、安全で良質な水を安定的に供給します。	58.1%	25.8%	6.5%	0.0%	9.7%	0.0%
問7	防犯体制について	防犯意識を高めるとともに、地域が主体となった防犯体制を整備します。	55.8%	9.1%	3.9%	13.0%	15.6%	2.6%
問8	子どもの成長について	全ての子どもたちの健やかな成長を社会全体で支え、子どもを産み育てやすいまちづくりを推進します。	45.3%	12.5%	12.5%	9.4%	20.3%	0.0%
問9	医療体制について	地域医療の連携を図り、誰もが住み慣れた地域において、良質な医療の提供を受けられる体制を充実させます。	48.6%	16.2%	13.5%	10.8%	10.8%	0.0%
問10	生活困窮者等への支援について	生活困窮者等が経済的・日常的・社会的に早期に自立できるよう支援します。	47.8%	2.9%	11.6%	20.3%	15.9%	1.4%
問11	農林水産業について	農業と農地を地域で守り育て、安全・安心で良質な農水産物の生産を振興するとともに、森林を整備保全します。	58.4%	7.8%	6.5%	11.7%	14.3%	1.3%
問12	拠点性を高める交通網について	中枢拠点都市としての機能を発揮できる陸海空の交通網の整備を推進します。	46.4%	6.5%	12.3%	12.3%	16.7%	5.8%
問13	中心市街地について	本市を中心とした圏域の経済を牽引する中心市街地の活性化を図ります。	49.0%	4.8%	5.4%	22.4%	13.6%	4.8%
問14	自転車の利用環境について	地球環境にやさしく機動性に優れた自転車を、人々が安全で快適に利用できる環境を向上させます。	38.2%	11.2%	6.7%	22.5%	18.0%	3.4%
問15	高松市役所の職員力について	市民から信頼される職員を目指し、職員の意識改革と資質の向上を図ります。	40.9%	22.6%	7.0%	10.4%	16.5%	2.6%

A票 目指す姿に「あまり賛同できない」「賛同できない」「わからない」と回答した理由 2/2

全体として「目指す姿が理解しにくい」と回答した割合が高い。問5、問6、では「目標が低すぎる」の割合が他施策と比べて高く、問13、問14では「方向性が間違っている」の割合が他施策と比べて高い。



分析結果(総括)

～B票～

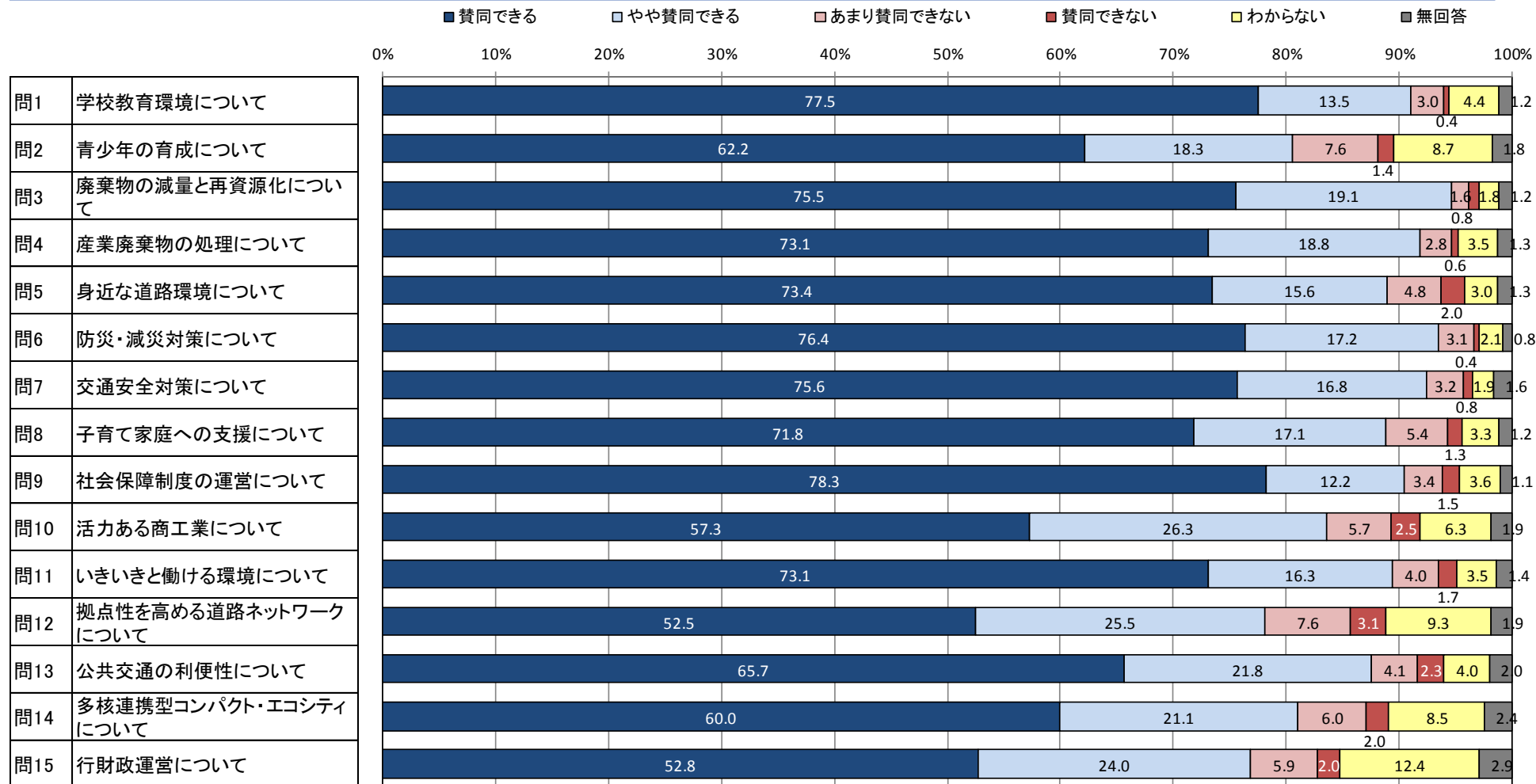
B票 目指す姿に対する考え方 1/3

すべての施策に対し肯定的な意見が多数を占めている。

	テーマ	目指す姿	賛同できる	やや賛同できる	あまり賛同できない	賛同できない	わからない	無回答
問1	学校教育環境について	子どもたちが、学校において、安全・安心に、健康的で、快適に学習・生活できる教育環境を整備します。	77.5%	13.5%	3.0%	0.4%	4.4%	1.2%
問2	青少年の育成について	青少年の健やかな成長に必要な支援環境の充実を図ります。	62.2%	18.3%	7.6%	1.4%	8.7%	1.8%
問3	廃棄物の減量と再資源化について	省資源・省エネルギーの観点から、廃棄物の減量と再資源化を推進します。	75.5%	19.1%	1.6%	0.8%	1.8%	1.2%
問4	産業廃棄物の処理について	環境負荷の少ない循環型社会を目指し、産業廃棄物の適正処理を促進します。	73.1%	18.8%	2.8%	0.6%	3.5%	1.3%
問5	身近な道路環境について	市民が、安全で安心して利用できる身近な道路(橋りょう含む)環境を整備します。	73.4%	15.6%	4.8%	2.0%	3.0%	1.3%
問6	防災・減災対策について	市民の防災意識を高めるとともに、地域及び国・県等防災関係機関と連携し、防災・減災対策を充実させます。	76.4%	17.2%	3.1%	0.4%	2.1%	0.8%
問7	交通安全対策について	交通安全の意識を高めるとともに、道路の通行環境を整備し、安全対策を充実させます。	75.6%	16.8%	3.2%	0.8%	1.9%	1.6%
問8	子育て家庭への支援について	全ての子育て家庭が、心身ともにゆとりをもって子育てができる環境を整えます。	71.8%	17.1%	5.4%	1.3%	3.3%	1.2%
問9	社会保障制度の運営について	市民が安心して医療・介護・年金を受けられることができる社会保障制度を適切に運営します。	78.3%	12.2%	3.4%	1.5%	3.6%	1.1%
問10	活力ある商工業について	中小企業振興施策や中央商店街のにぎわいづくりを推進し、地域を支える商工業を振興させます。	57.3%	26.3%	5.7%	2.5%	6.3%	1.9%
問11	いきいきと働ける環境について	就業者が長く働き続けられる、安定した魅力ある就業環境を充実させます。	73.1%	16.3%	4.0%	1.7%	3.5%	1.4%
問12	拠点性を高める道路ネットワークについて	中枢拠点都市としての道路交通の円滑化・安全性などの向上を目指し、都市計画道路のネットワークを強化します。	52.5%	25.5%	7.6%	3.1%	9.3%	1.9%
問13	公共交通の利便性について	市民の活動を支える多様な移動手段を創出するとともに、快適な公共交通を確保します。	65.7%	21.8%	4.1%	2.3%	4.0%	2.0%
問14	多核連携型コンパクト・エコシティについて	人口減少、少子・超高齢社会においても、活力を失わず、市民がいきいきと暮らせる、コンパクトで持続可能なまちづくりを推進します。	60.0%	21.1%	6.0%	2.0%	8.5%	2.4%
問15	行財政運営について	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化に的確に対応できる、効率的で効果的な行財政運営を推進します。	52.8%	24.0%	5.9%	2.0%	12.4%	2.9%

B票 目指す姿に対する考え方 2/3

すべての施策に対し肯定的な意見が多数を占めている。問1、問9の賛同が多く得られており、問10、問12、問15の賛同が他の施策に比べて低い。



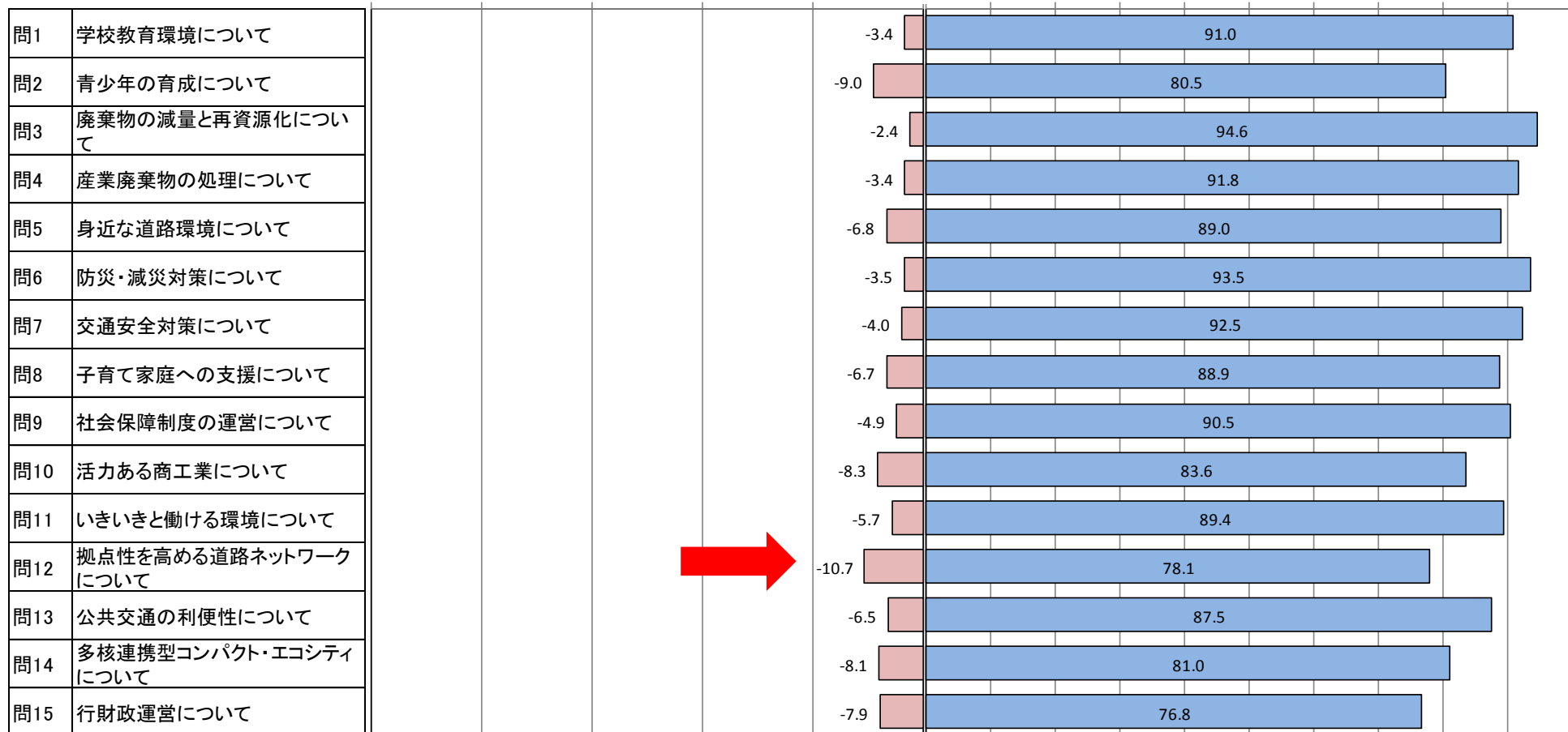
n=944

B票 目指す姿に対する考え方 3/3

問12のみ否定的意見が10%を超えている。

目指す姿への賛否 「(賛同できる+やや賛同できる)→プラス」、「(あまり賛同できない+賛同できない)→マイナス」

-100.0 -80.0 -60.0 -40.0 -20.0 0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0 80.0 90.0 100.0



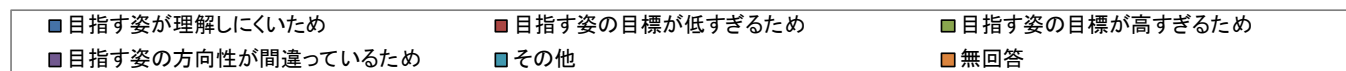
B票 目指す姿に「あまり賛同できない」「賛同できない」「わからない」と回答した理由 1/2

全体として「目指す姿が理解しにくい」と回答した割合が高い。

	テーマ	目指す姿	目指す姿が理解しにくい ため	目指す姿の目標が低すぎる ため	目指す姿の目標が高すぎる ため	目指す姿の方向性が間違っ ているため	その他	無回答
問1	学校教育環境について	子どもたちが、学校において、安全・安心に、健康的で、快適に学習・生活できる教育環境を整備します。	71.6%	9.5%	2.7%	0.0%	14.9%	1.4%
問2	青少年の育成について	青少年の健やかな成長に必要な支援環境の充実を図ります。	85.6%	1.2%	1.2%	1.8%	10.2%	0.0%
問3	廃棄物の減量と再資源化について	省資源・省エネルギーの観点から、廃棄物の減量と再資源化を推進します。	60.0%	5.0%	0.0%	12.5%	22.5%	0.0%
問4	産業廃棄物の処理について	環境負荷の少ない循環型社会を目指し、産業廃棄物の適正処理を促進します。	72.3%	3.1%	7.7%	4.6%	12.3%	0.0%
問5	身近な道路環境について	市民が、安全で安心して利用できる身近な道路(橋りょう含む)環境を整備します。	52.2%	7.6%	0.0%	8.7%	30.4%	1.1%
問6	防災・減災対策について	市民の防災意識を高めるとともに、地域及び国・県等防災関係機関と連携し、防災・減災対策を充実させます。	66.0%	13.2%	3.8%	5.7%	9.4%	1.9%
問7	交通安全対策について	交通安全の意識を高めるとともに、道路の通行環境を整備し、安全対策を充実させます。	55.4%	10.7%	0.0%	12.5%	19.6%	1.8%
問8	子育て家庭への支援について	全ての子育て家庭が、心身ともにゆとりをもって子育てができる環境を整えます。	51.1%	8.5%	11.7%	11.7%	16.0%	1.1%
問9	社会保障制度の運営について	市民が安心して医療・介護・年金を受けることができる社会保障制度を適切に運営します。	47.5%	8.8%	11.3%	15.0%	17.5%	0.0%
問10	活力ある商工業について	中小企業振興施策や中央商店街のにぎわいづくりを推進し、地域を支える商工業を振興させます。	65.7%	5.1%	2.9%	13.9%	10.2%	2.2%
問11	いきいきと働ける環境について	就業者が長く働き続けられる、安定した魅力ある就業環境を充実させます。	55.2%	9.2%	4.6%	13.8%	14.9%	2.3%
問12	拠点性を高める道路ネットワークについて	中枢拠点都市としての道路交通の円滑化・安全性などの向上を目指し、都市計画道路のネットワークを強化します。	65.1%	0.5%	5.3%	12.7%	13.8%	2.6%
問13	公共交通の利便性について	市民の活動を支える多様な移動手段を創出するとともに、快適な公共交通を確保します。	57.6%	7.1%	5.1%	11.1%	18.2%	1.0%
問14	多核連携型コンパクト・エ コシティについて	人口減少、少子・超高齢社会においても、活力を失わず、市民がいきいきと暮らせる、コンパクトで持続可能なまちづくりを推進します。	78.8%	1.9%	5.8%	7.1%	5.8%	0.6%
問15	行財政運営について	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化に的確に対応できる、効率的で効果的な行財政運営を推進します。	80.2%	1.6%	4.7%	4.2%	6.3%	3.1%

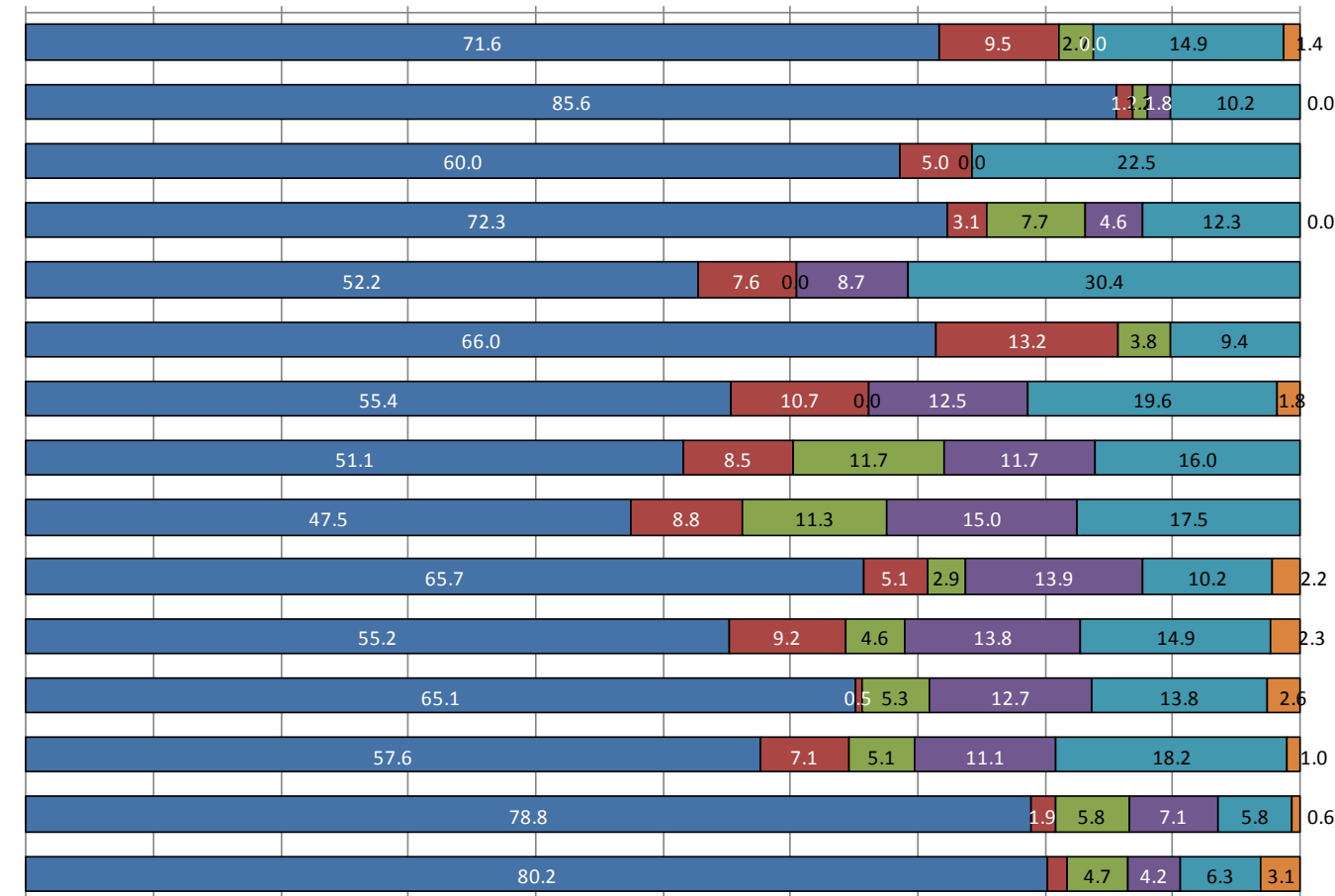
B票 目指す姿に「あまり賛同できない」「賛同できない」「わからない」と回答した理由 2/2

全体として「目指す姿が理解しにくい」と回答した割合が高い。問6、では「目標が低すぎる」の割合が他施策と比べて高く、問9、問10、問11では「方向性が間違っている」の割合が他施策と比べて高い。



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

問	内容	回答数
問1	学校教育環境について	74
問2	青少年の育成について	167
問3	廃棄物の減量と再資源化について	40
問4	産業廃棄物の処理について	65
問5	身近な道路環境について	92
問6	防災・減災対策について	53
問7	交通安全対策について	56
問8	子育て家庭への支援について	94
問9	社会保障制度の運営について	80
問10	活力ある商工業について	137
問11	いきいきと働ける環境について	87
問12	拠点性を高める道路ネットワークについて	189
問13	公共交通の利便性について	99
問14	多核連携型コンパクト・エコシティについて	156
問15	行財政運営について	192



分析結果（施策別）

分析結果(施策別)

～A票～

施策1 学校教育について

目指す姿に対して賛同できるかどうかの分析結果は以下の通りです。

- ・年代別では、70代で肯定的意見の割合が高い。
- ・職業別では、農林水産業と自由業、学生は肯定的意見の割合が高い。
- ・居住地別では、**西部南地区にて肯定的意見の割合が高く、反対に西部北地区では否定的意見の割合が11.1%と高い。**
- ・居住年数別では、10年以上20年未満で否定的意見の割合が高い。

重要だと思う事業の分析の結果は以下の通りです。

- ・全体的に「教職員の資質向上」が高い傾向にある。
- ・年代別では前期高齢者で「教職員の資質向上」が重要だと思う市民の割合が39.0%と高い。
- ・職業別では公務員で「児童生徒への指導の推進」が重要だと思う市民の割合が高くなっている。また、主婦で「教職員の資質向上」が重要だと思う市民の割合高い。
- ・居住地区別では西部南で「教職員の質の向上」を重要だと思う市民の割合が高い。

施策2 家庭・地域の教育力について

目指す姿に対して賛同できるかどうかの分析結果は以下の通りです。

- ・年代別では、70代で肯定的意見の割合が高く、10代で否定的意見の割合が高くなっている。
- ・職業別では、公務員と農林水産業、自由業は肯定的意見の割合が高く、パート、アルバイト、フリーターと学生で否定的意見の割合が高くなっている。
- ・居住年数別では、10年以上20年未満で否定的意見の割合が8.8%と高い。
- ・家族構成別では、**三世代(親、子、孫)で肯定的な意見の割合が高い。**

重要だと思う事業の分析の結果は以下の通りです。

- ・全体的に、「規則正しい生活習慣の普及啓発」を重要だと思う市民の割合が高い傾向にある。
- ・年代別では後期高齢者で「規則正しい生活習慣の普及啓発」が重要だと思う市民の割合が高い。
- ・職業別では商工サービス自営業では「規則正しい生活習慣の普及啓発」が重要だと思う市民の割合が40.0%と高い。農林水産業では「家庭の教育力の向上」が重要だと思う市民の割合が高い。

施策3 子どもの安全について

目指す姿に対して賛同できるかどうかの分析結果は以下の通りです。

- ・年代別では、10代で肯定的意見の割合が高くなっており、反対に、60代では否定的意見の割合が高くなっている。
- ・職業別では、自由業で肯定的意見の割合が高く、商工サービス自営業で否定的意見の割合が高くなっている。
- ・居住地区別では、東部北と東部南、西部南で肯定的意見の割合が高くなっている。

重要だと思う事業の分析の結果は以下の通りです。

- ・全体的に、「子どもの安全確保活動」が重要だと思う市民の割合が高い傾向にある。
- ・年代別では50代、60代で「子どもの安全確保活動」が重要だと思う市民の割合がそれぞれ54.5%、54.9%と特に高い。また、10代では「通学路の安全対策」が重要だと思う市民の割合が高い。
- ・職業別では自由業で「子どもの安全確保活動」が重要だと思う市民の割合が特に高い。

施策4 一般廃棄物の処理について

目指す姿に対して賛同できるかどうかの分析結果は以下の通りです。

- ・年代別では、10代と70代で肯定的意見の割合が高くなっており、反対に、30代では否定的意見の割合が高くなっている。
- ・職業別では、農林水産業、自由業と学生で肯定的意見の割合がいずれも100%と高く、反対に、商工サービス自営業で否定的意見の割合が5.5%と比較的高くなっている。
- ・居住地区別では、都心で否定的意見の割合が高くなっている。
- ・居住年数別では3年未満で否定的な意見の割合が高くなっている。

重要だと思う事業の分析の結果は以下の通りです。

- ・全属性において、「リサイクルの推進」が重要だと思う市民の割合が最も高い。
- ・年代別では30歳未満で「リサイクルの推進」が重要だと思う市民の割合が特に高い。
- ・職業別では、学生で「リサイクルの推進」が重要だと思う市民の割合が特に高い。

施策5 不法投棄について

目指す姿に対して賛同できるかどうかの分析結果は以下の通りです。

- ・年代別では、10代で肯定的意見の割合が高い。
- ・職業別では、公務員、農林水産業、自由業、学生で肯定的意見の割合が高い。
- ・居住年数別では3年未満で否定的な意見の割合が8.0%と全体の3.5%と比較して高くなっている。

重要だと思う事業の分析の結果は以下の通りです。

- ・全体的に、「行政と市民等の協働によるごみ回収の推進」が重要だと思う市民の割合が高い。
- ・職業別では農林水産業と行政と「市民等の協働によるごみ回収の推進」が重要だと思う市民の割合が特に高い。また、自由業で「監視システム・パトロール強化」が重要だと思う市民の割合が高い。
- ・居住地区別では南部で「地域住民・関係団体と連携した防止対策」が重要だと思う市民の割合が高い。
- ・居住年数別では10年未満で「行政と市民等の協働によるごみ回収の推進」が重要だと思う市民の割合が特に高い。

施策6 水の供給について

目指す姿に対して賛同できるかどうかの分析結果は以下の通りです。

- ・年代別では、60～64歳で否定的意見の割合が4.8%と全体の2.1%と比較して高い。
- ・職業別では、農林水産業、自由業、学生で肯定的意見の割合が高い。
- ・居住地区別では、**都心で否定的意見の割合が高くなっている。**

重要だと思う事業の分析の結果は以下の通りです。

- ・全体的に、「水源の確保」と「安全でおいしい水道水の供給」が重要だと思う市民の割合が高い。
- ・年代別では10代で「水源の確保」が重要だと思う市民の割合が特に高い。
- ・職業別では会社員・団体職員など被雇用者と自由業で「水源の確保」が重要だと思う市民の割合が特に高い。また、**商工サービス自営業と農林水産業では「水道施設の耐震化や老朽施設の更新」が重要だと思う市民の割合が高い。**

施策7 防犯体制について

目指す姿に対して賛同できるかどうかの分析結果は以下の通りです。

- ・年代別では、60～64歳で否定的意見の割合が9.6%と全体の5.8%と比較して高い。
- ・職業別では、商工サービス自営業、農林水産業、自由業で肯定的意見の割合が高い。
- ・居住地区別では、南部で肯定的意見の割合が高くなっている。
- ・家族構成では三世代(親、子、孫)で肯定的意見の割合が高くなっている。

重要だと思う事業の分析の結果は以下の通りです。

- ・全体的に「警察や防犯協会等関係機関との連携強化」が重要だと思う市民の割合が高い傾向にある。
- ・職業別では農林水産業と自由業で「警察や防犯協会等関係機関との連携強化」が重要だと思う市民の割合が特に高い。
- ・居住地区別では東部北と南部で「警察や防犯協会等関係機関との連携強化」が重要だと思う市民の割合が特に高い。

施策8 子どもの成長について

目指す姿に対して賛同できるかどうかの分析結果は以下の通りです。

- ・年代別では、**80代以上で肯定的意見の割合が高いが、60～64歳で否定的意見の割合が高い。**
- ・職業別では、公務員、自由業、学生で肯定的意見の割合が高い。

重要だと思う事業の分析の結果は以下の通りです。

- ・全体的に、「保育所・幼稚園施設の整備」が重要だと思う市民の割合が高い傾向にある。
- ・年齢別では**30歳未満で「保育所・幼稚園施設の整備」が重要だと思う市民の割合が53.3%と特に高い。**
- ・職業別では農林水産業、自由業、学生で「保育所・幼稚園施設の整備」が重要だと思う市民の割合が特に高い。
- ・家族構成別では「子育て相談の充実」が重要だと思う市民の割合が高い。

施策9 医療体制について

目指す姿に対して賛同できるかどうかの分析結果は以下の通りです。

- ・年代別では、10代で肯定的意見の割合が100.0%と高いが、**60～64歳で否定的意見の割合が4.8%と全体の2.5%と比較して高い。**
- ・職業別では、農林水産業、自由業、学生で肯定的意見の割合が高い。
- ・居住区では**東部南で肯定的意見の割合が高いが、西部北では否定的意見の割合が高い。**

重要だと思う事業の分析の結果は以下の通りです。

- ・**全体的に、「医療人材の確保」が重要だと思う市民の割合が高い傾向にある。**
- ・年齢別では40代で「医療人材の確保」が重要であると思う市民の割合が特に高い。
- ・職業別では農林水産業と自由業で「医療人材の確保」が重要だと思う市民の割合が特に高い。
- ・居住地区別では西部南で「医療人材の確保」が重要だと思う市民の割合が特に高い。
- ・居住年数別では3年未満で「医療人材の確保」が重要だと思う市民の割合が特に高い。
- ・家族構成別では、三世代(親、子、孫)で「救急医療体制の充実」が重要だと思う市民の割合が高い。

施策10 生活困窮者等への支援について

目指す姿に対して賛同できるかどうかの分析結果は以下の通りです。

- ・職業別では、公務員、農林水産業、自由業で肯定的意見の割合が高い。反対に、会社員・団体職員など被雇用者では否定的意見の割合が高い。
- ・家族構成別では三世代(親、子、孫)で肯定的意見の割合が高い。

重要だと思う事業の分析の結果は以下の通りです。

- ・全体的に、「就労支援による自立の促進」と「能力に応じた就業機会の場の確保」が重要だと思う市民の割合がそれぞれ41.1%と40.0%と高い傾向にある。
- ・職業別では公務員と自由業で「就労支援による自立の促進」が重要だと思う市民の割合が特に高い。また、商工サービス自営業、パート、アルバイト、フリーター、学生、無職で「能力に応じた就業機会の場の確保」が重要だと思う市民の割合が高い。
- ・居住地別では西部北で「就労支援による自立の促進」が重要だと思う市民の割合が特に高い。
- ・居住年数別では3年未満で「就労支援による自立の促進」が重要だと思う市民の割合が特に高い。

施策11 農林水産業について

目指す姿に対して賛同できるかどうかの分析結果は以下の通りです。

- ・職業別では、公務員、自由業、学生で肯定的意見の割合が高い。反対に、無職では否定的意見の割合が高い。
- ・家族構成別では三世代(親、子、孫)で肯定的意見の割合が高い。反対に、親子では否定的意見の割合が高い。

重要だと思う事業の分析の結果は以下の通りです。

- ・全体的に「遊休農地の有効活用」が重要だと思う市民の割合が高い傾向にある。
- ・年齢別では40代において「遊休農地の有効活用」が重要だと思う市民の割合が特に高い。
- ・職業別では、商工サービス業、自由業、パート、アルバイト、フリーターで「遊休農地の有効活用」が重要だと思う市民の割合が特に高い。また、**農林水産業では「有害鳥獣被害の対策」が重要だと思う市民の割合が最も高い。**

施策12 拠点性を高める交通網について

目指す姿に対して賛同できるかどうかの分析結果は以下の通りです。

- ・職業別では、公務員、農林水産業、自由業で肯定的意見の割合が高い。反対に、学生では否定的意見の割合が高い。
- ・居住地域別では西部北、西部南で否定的意見の割合が高い。

重要だと思う事業の分析の結果は以下の通りです。

- ・全体的に「四国における鉄道高速化の促進」が重要だと思う市民の割合が高い。
- ・年齢別では30歳未満で「四国における鉄道高速化の促進」が重要だと思う市民の割合が特に高い。
- ・職業別では学生で「四国における鉄道高速化の促進」が重要だと思う市民の割合が特に高い。
- ・居住年数別では3年未満で「四国における鉄道高速化の促進」が重要だと思う市民の割合が特に高い。
- ・家族構成では単身で「四国における鉄道高速化の促進」が重要だと思う市民の割合が特に高い。

施策13 中心市街地について

目指す姿に対して賛同できるかどうかの分析結果は以下の通りです。

- ・職業別では、**公務員、自由業**で**肯定的意見の割合が高い**。反対に、**商工サービス自営業**では**否定的意見の割合が高い**。
- ・居住年数別では**3年未満**で**肯定的意見の割合が高い**。

重要だと思う事業の分析の結果は以下の通りです。

- ・全体的に、「**市街地の再開発**」が**重要だと思う市民の割合が高い**。
- ・年齢別では**50代**で「**市街地の再開発**」が**重要だと思う市民の割合が特に高い**。
- ・職業別では**会社員・団体職員**など**被雇用者**で「**市街地の再開発**」が**重要だと思う市民の割合が特に高い**。農林水産業では「**中心市街地の歩行者空間の整備**」が**重要だと思う市民の割合が高い**。
- ・居住地区別では**南部**で「**市街地の再開発**」が**重要だと思う市民の割合が特に高い**。

施策14 自転車の利用環境について

目指す姿に対して賛同できるかどうかの分析結果は以下の通りです。

- ・年齢別では**30歳未満で肯定的意見の割合が96.7%と高くなっている。**
- ・職業別では、公務員、農林水産業、学生で肯定的意見の割合が高い。反対に、商工サービス自営業では否定的意見の割合が高い。
- ・居住年数別では3年未満で否定的意見の割合が高い。

重要だと思う事業の分析の結果は以下の通りです。

- ・**全属性において、「自転車走行環境の整備」が重要だと思う市民の割合が最も高くなっている。**
- ・年齢別では50代で「自転車走行環境の整備」が重要だと思う市民の割合が特に高い。
- ・職業別では、公務員、農林水産業、主婦で特に「自転車走行環境の整備」が重要だと思う市民の割合が特に高い。
- ・居住年数別では3年未満で「自転車走行環境の整備」が重要だと思う市民の割合が特に高い。

施策15 高松市役所の職員力について

目指す姿に対して賛同できるかどうかの分析結果は以下の通りです。

- ・職業別では、公務員、農林水産業、自由業、学生で肯定的意見の割合が高い。反対に、パート、アルバイト、フリーターでは否定的意見の割合が高い。
- ・居住年数別では3年未満と10年以上20年未満で否定的意見の割合が高い。

重要だと思う事業の分析の結果は以下の通りです。

- ・全属性において、「人材の育成」が重要だと思う市民の割合が最も高くなっている。
- ・職業別では公務員で「人材の育成」が重要だと思う市民の割合が特に高い。
- ・居住地区別では、西部南で「人材の育成」が重要だと思う市民の割合が特に高い。
- ・居住年数別では3年以上10年未満で「人材の育成」が重要だと思う市民の割合が特に高い。
- ・家族構成別では単身で「人材の育成」が重要だと思う市民の割合が特に高い。

分析結果(施策別) ～B票～

施策1 学校教育環境について

目指す姿に対して賛同できるかどうかの分析結果は以下の通りです。

- ・全体として肯定的意見の割合が高い。
- ・職業別では、回答者数の少ない自営業従事者等を除くと、主婦の肯定的意見の割合が高い。これは、学校教育環境についての目指す姿に対して、保護者の立場の賛同が得られていることを意味すると考えられる。
- ・年代別では、10代の否定的意見の割合が他の年代と比べて高い。これは、学校教育環境に直接関係する当事者から目指す姿に対する賛同が得られていないことを意味すると考えられる。
- ・職業別では、公務員の否定的意見の割合が他の職業と比べて高い。

重要だと思う事業の分析の結果は以下の通りです。

- ・全体として「学校施設の老朽化」と「少人数学級の推進」が重要だと思う市民の割合が他の事業と比べて高い。
- ・年代別では40～50代で「少人数学級の推進」が重要だと思う市民の割合が高い、一方、20代では「学校施設の老朽化対策」が重要だと思う市民の割合が高い。
- ・職業別では学生で「学校施設の老朽化」が重要だと思う市民の割合が高い。これは、学校施設を利用しているなかで、施設の老朽化を感じていることを意味すると考えられる。
- ・居住地別では、都心以外では「学校施設の老朽化」が重要だと思う市民の割合が高いのに対し、都心では、「少人数学級の推進」が重要だと思う市民の割合が高い。人口の分布状況や個々の学校施設の整備状況の差による違いが表れていると考えられる。

施策2 青少年の育成について

目指す姿に対して賛同できるかどうかの分析結果は以下の通りです。

- ・全体として否定的意見の割合が9.0%と他の施策と比べて高く、かつ、「わからない」と回答した割合が8.7%と他の施策と比べて高い。
- ・年代別では、後期高齢者の肯定的意見の割合が他の年代と比べて高い。
- ・職業別では、公務員の否定的意見の割合が他の職業と比べて高い。
- ・居住年数別では、居住年数3年未満の否定的意見の割合が居住年数3年以上に比べて高い。

重要だと思う事業の分析の結果は以下の通りです。

- ・全体として「非行防止活動」「少年に対する教育の推進」が重要だと思う市民の割合が高い。
- ・年代別では80代以上で「非行防止活動」が重要だと思う市民の割合が高い、一方、30～40代では「少年に対する教育の推進」が重要だと思う市民の割合が高い。これは、子育ての終わった世代である80代以上と子育て最中の世代である30～40代の意識の違いが表れているものと考えられる。
- ・職業別ではパート、アルバイト、フリーターで「少年に対する教育の推進」が重要だと思う市民の割合が高い。

施策3 廃棄物の減量と再資源化について

目指す姿に対して賛同できるかどうかの分析結果は以下の通りです。

- ・全体として肯定的意見の割合が高い。
- ・年代別では、60代以上の肯定的意見の割合が他の年代と比べて高い。また、10代で「わからない」と回答した割合が他の年代と比べて高く、10代では、廃棄物の減量と再資源化についての理解が乏しいと考えられる。
- ・居住地別では、**西部北で肯定的意見が他の居住地と比べて高く、南部で否定的意見の割合が他の居住地と比べて高い。**

重要だと思う事業の分析の結果は以下の通りです。

- ・**すべての属性において、「リサイクルの推進」が重要だと思う市民の割合が高い。**
- ・一方、ほぼすべての属性において、その他や無回答を除き、「レジ袋等削減の推進」が重要だと思う市民の割合が低い。これは、レジ袋等削減に対する行政の関わり方の重要性が低いと認識する市民が多いことや、既にレジ袋等の削減が浸透していることによるものと考えられる。

施策4 産業廃棄物の処理について

目指す姿に対して賛同できるかどうかの分析結果は以下の通りです。

- ・全体として肯定的意見の割合が高い。
- ・年代別では、後期高齢者の肯定的意見の割合が他の年代と比べて高い。
- ・居住地別では、東部南で肯定的意見が他の居住地と比べて高く、南部で否定的意見の割合が他の居住地と比べて高い。

重要だと思う事業の分析の結果は以下の通りです。

- ・ほぼすべての属性において、「リサイクルの推進」が重要だと思う市民の割合が高い。その中で、年代別では、40代と80代以上で「リサイクルの推進」よりも「適正処理の指導」が重要だと思う市民の割合が高く、居住地別では東部南で「リサイクルの推進」と「適正処理の指導」が重要だと思う市民の割合が同率であった。

施策5 身近な道路環境について

目指す姿に対して賛同できるかどうかの分析結果は以下の通りです。

- ・年代別では、後期高齢者の肯定的意見の割合が他の年代と比べて高い。また、30代と50代では否定的意見の割合が他の年代と比べて低い。
- ・職業別では、会社員・団体職員など被雇用者の否定的意見が他の職業と比べて高い。
- ・居住地別では、**西部南と南部で否定的意見が他の居住地と比べて高い**。これは、道路環境整備状況や道路環境整備に対する要求水準の地域差が表れていると考えられる。

重要だと思う事業の分析の結果は以下の通りです。

- ・**全体として、「道路の維持管理」と「生活道路(幅員5.0m程度)の整備」が重要だと思ふ市民の割合が高い。**
- ・年代別では、40歳未満の「生活道路(幅員5.0m程度)の整備」が重要だと思ふ市民の割合が高く、40代以上で「道路の維持管理」が重要だと思ふ市民の割合が高い。
- ・居住地別では、都心と東部南で「生活道路(幅員5.0m程度)の整備」が重要だと思ふ市民の割合が高く、それ以外の居住地で「道路の維持管理」が重要だと思ふ市民の割合が高い。これは、道路環境整備状況の地域差が表れていると考えられる。
- ・居住年数別では、20年未満の「生活道路(幅員5.0m程度)の整備」が重要だと思ふ市民の割合が高く、20年以上で「道路の維持管理」が重要だと思ふ市民の割合が高い。

施策6 防災・減災対策について

目指す姿に対して賛同できるかどうかの分析結果は以下の通りです。

- ・全体として肯定的意見の割合が高い。
- ・居住地別では、西部北で肯定的意見の割合が他の居住地と比べて高い。一方、南部で否定的意見の割合が他の居住地と比べて高い。

重要だと思う事業の分析の結果は以下の通りです。

- ・全体として「災害時における情報伝達手段の整備」が重要だと思う市民の割合は38.3%と他の事業と比べて高く、また、ほぼすべての属性において「災害時における情報伝達手段の整備」が重要だと思う市民の割合が高い。
- ・年代別では、20代以上では「災害時における情報伝達手段の整備」が重要だと思う市民の割合が高く、10代では「建築物の耐震化」が重要だと思う市民の割合が高い。
- ・職業別では、**公務員と商工サービス自営業(家族従業を含む)の「自主防災組織等の育成」が重要だと思う市民の割合が他の職業と比べて高い。**

施策7 交通安全対策について

目指す姿に対して賛同できるかどうかの分析結果は以下の通りです。

- ・全体として肯定的意見の割合が高い。
- ・居住地別では、東部南で肯定的意見の割合が他の居住地と比べて高い。
- ・居住年数別では、10年未満で否定的意見の割合が高い。

重要だと思う事業の分析の結果は以下の通りです。

- ・全体として「道路の通行環境の整備」が重要だと思う市民の割合は36.4%と他の事業と比べて高く、ほぼすべての属性において「道路の通行環境の整備」が重要だと思う市民の割合が高い。一方、ほぼすべての属性において「交通事故相談の充実」が重要だと思う市民の割合が低い。
- ・年代別では、後期高齢者では「交通安全教育等の推進」が重要だと思う市民の割合が他の年代と比べて高い。

施策8 子育て家庭への支援について

目指す姿に対して賛同できるかどうかの分析結果は以下の通りです。

- ・居住地別では、西部北で肯定的意見の割合が他の居住地と比べて高く、南部で否定的意見が他の居住地と比べて高い。
- ・居住年数別では、10年未満で否定的意見の割合が高い。

重要だと思う事業の分析の結果は以下の通りです。

- ・全体として「子育てと仕事の両立支援」が重要だと思う市民の割合は33.3%と他の事業と比べて高く、次いで、「経済的負担の軽減」が重要だと思う市民の割合が26.0%となっている。
- ・年代別では、**20代～40代では、「経済的負担の軽減」が重要だと思う市民の割合が他の年代と比べて高い**。これは、若年層の子育て世代では、他の年代と比べて子育てに関する経済的負担が大きいことによるものと考えられる。
- ・居住地別では、東部南で「経済的負担の軽減」が重要だと思う市民の割合が他の居住地と比べて高い。

施策9 社会保障制度の運営について

目指す姿に対して賛同できるかどうかの分析結果は以下の通りです。

- ・全体として肯定的意見の割合が高い。
- ・**男女別では、女性の肯定的意見の割合が男性と比べて高い。**
- ・居住地別では、東部南と西部北で肯定的意見の割合が他の居住地と比べて高い。
- ・居住年数別では、3年未満で否定的意見の割合が高い。
- ・家族構成別では、単身者の「わからない」と回答した割合が他の家族構成と比べて高い。

重要だと思う事業の分析の結果は以下の通りです。

- ・全体として「保険料等の適切な収納」と「被保険者の健康の保持・増進」が重要だと思う市民の割合がそれぞれ23.5%、20.9%と他の事業と比べて高い。
- ・年代別では、年代によって重要だと思う事業にばらつきがあり、20代では「保険料等の適切な収納」が重要だと思う市民の割合が他の年代と比べて高く、60代では「被保険者の健康の保持・増進」が重要だと思う市民の割合が他の年代と比べて高い。
- ・居住地別では、東部南で「保険給付費の適正化」が重要だと思う市民の割合が他の居住地と比べて高い。
- ・居住年数別では、20年以上で「被保険者の健康の保持・増進」が重要だと思う市民の割合が20年未満と比べて高い。

施策10 活力ある商工業について

目指す姿に対して賛同できるかどうかの分析結果は以下の通りです。

- ・全体として否定的意見の割合が8.3%と他の施策と比べて高い。
- ・居住地別では、**都心の肯定的意見の割合が他の居住地と比べて高く、南部の否定的意見が他の居住地と比べて低い。**
- ・居住年数別では、3年未満で否定的意見の割合が高い。
- ・年代別では、40代～50代で否定的意見の割合が他の年代と比べて高い。

重要だと思う事業の分析の結果は以下の通りです。

- ・全体として「企業誘致・起業支援による地域産業活性化」と「中小企業の人材確保・就業機会拡大」が重要だと思う市民の割合がそれぞれ33.9%、31.7%と他の事業と比べて高い。
- ・属性別では、ほぼすべての属性において「企業誘致・起業支援による地域産業活性化」と「中小企業の人材確保・就業機会拡大」が重要だと思う市民の割合が高いが、**年代別の10代と居住年数別の3年未満では、「中央商店街のにぎわい促進」が重要だと思う市民の割合が他の年代と比べて高い。**

施策11 いきいきと働ける環境について

目指す姿に対して賛同できるかどうかの分析結果は以下の通りです。

- ・年代別では、30歳未満の肯定的意見の割合が他の年代と比べて高い。
- ・職業別では、公務員で否定的意見の割合が他の職業と比べて高い。

重要だと思う事業の分析の結果は以下の通りです。

- ・全体として「就業支援の推進」が重要だと思う市民の割合が45.9%と他の事業と比べて高く、次いで、「中小企業勤労者の支援」が重要だと思う市民の割合が30.1%となっている。
- ・属性別では、ほぼすべての属性において「就業支援の推進」が重要だと思う市民の割合が高いが、職業別では、商工サービス自営業(家族従業を含む)と農林水産業、パート・アルバイト・フリーターでは、「中小企業勤労者の支援」が重要だと思う市民の割合が他の年代と比べて高い。これは、特に商工サービス自営業(家族従業を含む)と農林水産業の事業者は中小企業が多く、実感としての意見が反映されていると考えられる。

施策12 拠点性を高める道路ネットワークについて

目指す姿に対して賛同できるかどうかの分析結果は以下の通りです。

- ・全体として否定的意見の割合が10.7%と他の施策と比べて高く、かつ、「わからない」と回答した割合が9.3%と他の施策と比べて高い。
- ・年代別では、80代以上の肯定的意見の割合が他の年代と比べて高く、40代～50代では、否定的意見の割合と「わからない」と回答した割合が他の年代と比べて高い。
- ・職業別では、公務員と自由業の否定的意見の割合が他の職業と比べて高い。

重要だと思う事業の分析の結果は以下の通りです。

- ・全体として「市内中心部と郊外部を結ぶ道路整備」が重要だと思う市民の割合が46.3%と他の事業と比べて高く、次いで、「市内地域間の連携を強化する道路整備」が重要だと思う市民の割合が28.3%となっている。
- ・属性別では、ほぼすべての属性において「市内中心部と郊外部を結ぶ道路整備」が重要だと思う市民の割合が高い。

施策13 公共交通の利便性について

目指す姿に対して賛同できるかどうかの分析結果は以下の通りです。

- ・年代別では、20代の肯定的意見の割合が他の年代と比べて高く、40代の否定的意見の割合が他の年代と比べて高い。
- ・職業別では、**公務員の肯定的意見の割合が他の職業と比べて高い。**
- ・居住地別では、西部北の肯定的意見の割合が他の居住地と比べて高く、東部北の否定的意見の割合が他の居住地と比べて高い。

重要だと思う事業の分析の結果は以下の通りです。

- ・全体として「公共交通の維持改善」と「新都市交通システムの導入」「公共交通の利用促進」が重要だと思う市民の割合がそれぞれ31.6%、27.6%、23.6%となっており、ばらつきが出ている。
- ・年代別では、70代で「公共交通の利用促進」が重要だと思う市民の割合が他の年代と比べて高い。
- ・居住地別では、南部で「公共交通の維持改善」が重要だと思う市民の割合が他の居住地と比べて高い。

施策14 多核連携型コンパクト・エコシティについて

目指す姿に対して賛同できるかどうかの分析結果は以下の通りです。

- ・全体として否定的意見の割合が8.1%と他の施策と比べて高く、かつ、「わからない」と回答した割合が8.5%と他の施策と比べて高い。
- ・年代別では、70代以上の肯定的意見の割合が他の年代と比べて高く、40代の否定的意見の割合が他の年代と比べて高い。
- ・居住地別では、西部北の肯定的意見の割合が他の居住地と比べて高く、西部南と南部の否定的意見の割合が他の居住地と比べて高い。

重要だと思う事業の分析の結果は以下の通りです。

- ・全体として「土地利用の適正な運用」と「コンパクト・エコシティの推進」が重要だと思う市民の割合がそれぞれ39.0%、37.3%となっており、他の事業と比べて高い。
- ・年代別では、30歳未満で「土地利用の適正な運用」が重要だと思う市民の割合が他の年代と比べて高い。

施策15 行財政運営について

目指す姿に対して賛同できるかどうかの分析結果は以下の通りです。

- ・全体として**否定的意見の割合が7.9%と他の施策と比べて高く、かつ、「わからない」と回答した割合が12.4%と他の施策と比べて高い**。これは、行財政運営についての理解が十分に市民に浸透していないことを意味すると考えられる。
- ・年代別では、**60代以上の肯定的意見の割合が他の年代と比べて高く、20～30代の否定的意見の割合が他の年代と比べて高い**。
- ・職業別では、公務員と学生の否定的意見の割合が他の職業と比べて高く、会社員・団体職員など被雇用者と農林水産業従事者は「わからない」と回答した割合が他の職業と比べて高い。

重要だと思う事業の分析の結果は以下の通りです。

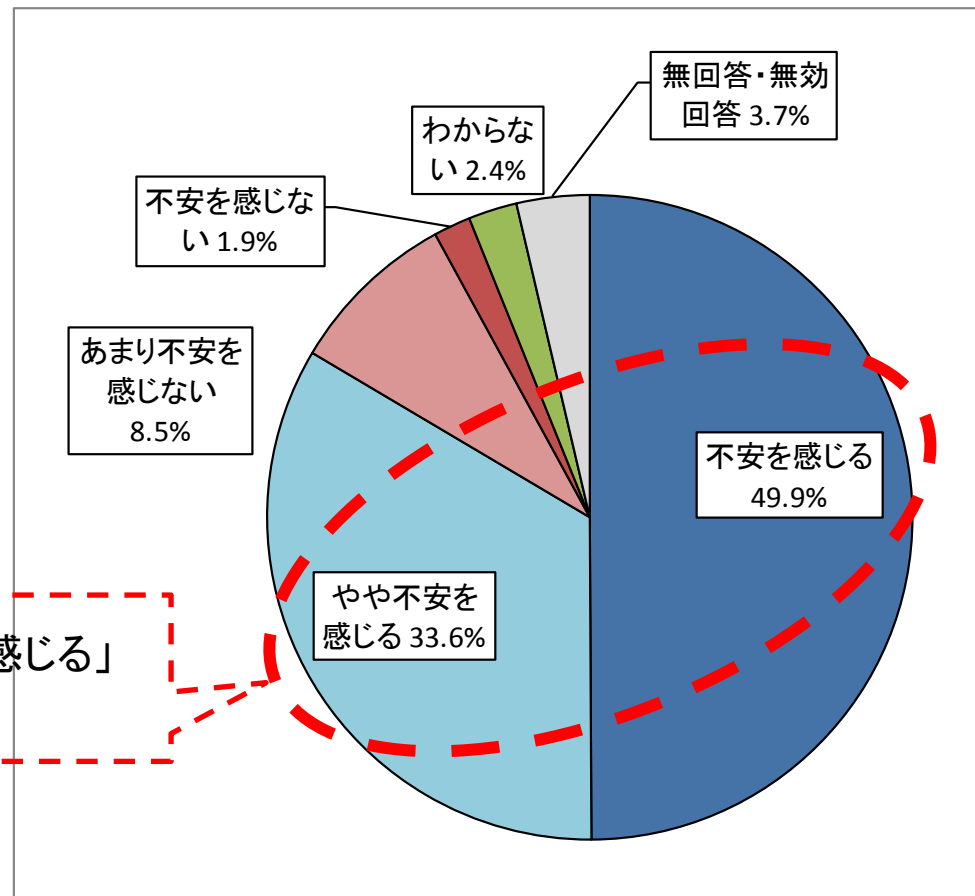
- ・全体として「行政改革の推進」と「ファシリティマネジメントの推進」が重要だと思う市民の割合がそれぞれ30.7%、27.9%となっており、他の事業と比べて高い。
- ・年代別では、80代以上で「行政改革の推進」が重要だと思う市民の割合が他の年代と比べて高い。
- ・職業別では、公務員で「ファシリティマネジメントの推進」が重要だと思う市民の割合が他の職業と比べて高い。

分析結果 (少子高齢化への不安)

A票・B票共通 人口減少、少子・超高齢社会への不安

「不安を感じる」と回答した割合が約半数を占めており、「やや不安を感じる」と回答した割合と合計すると、全体の8割以上を占めている。

選択肢	回答数	割合
不安を感じる	942	49.9%
やや不安を感じる	634	33.6%
あまり不安を感じない	161	8.5%
不安を感じない	35	1.9%
わからない	46	2.4%
無回答・無効回答	69	3.7%
合計	1,887	100.0%

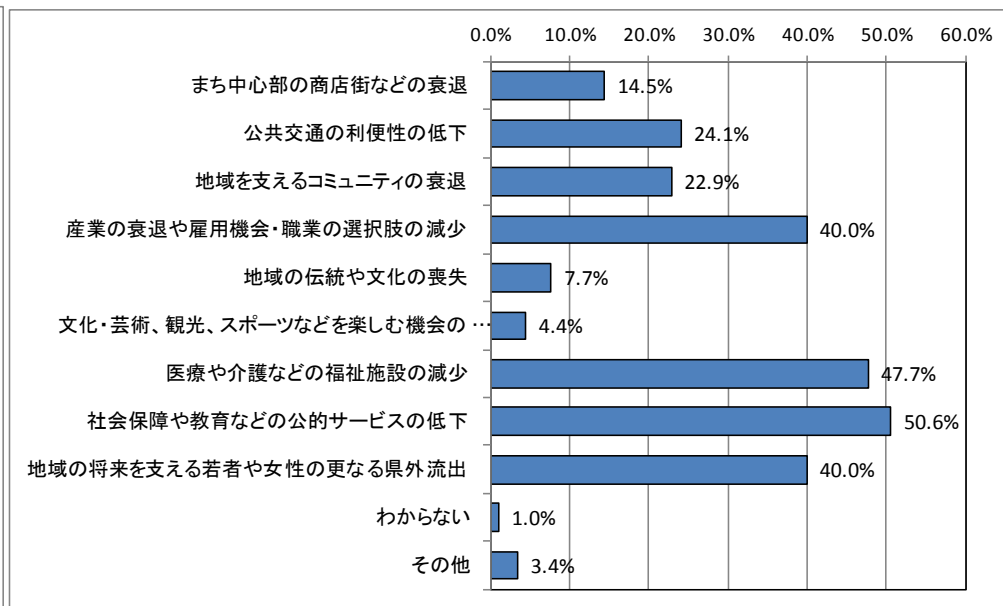
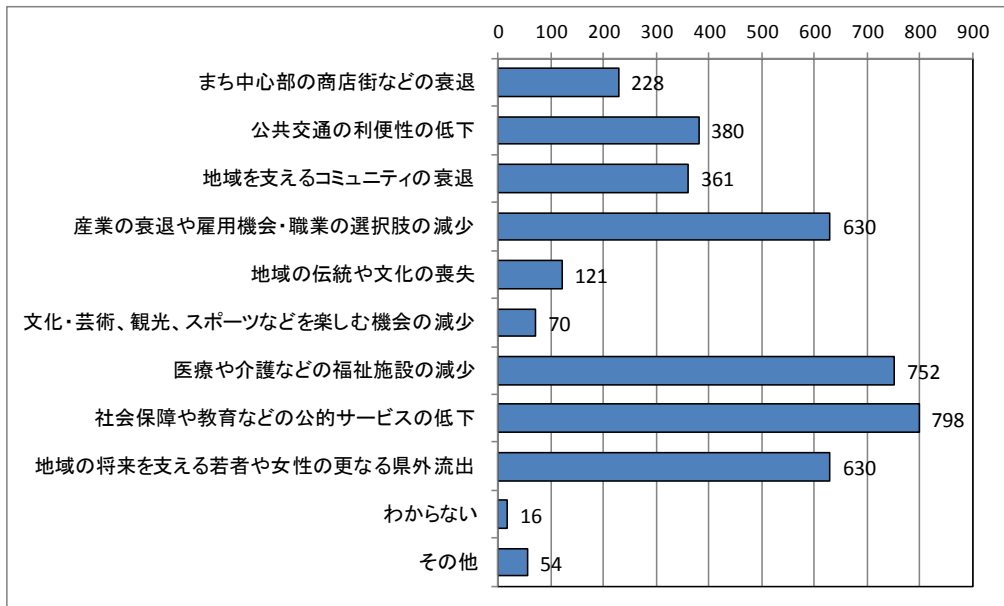


「不安を感じる」+「やや不安を感じる」
合計83.5%

A票・B票共通 急激に人口が減少した場合、何に対して不安を感じるか

社会保障関連や医療・介護関連など、生活水準の維持に関する項目の割合が高く、文化等の項目の割合が低い。

選択肢	回答数	割合
まち中心部の商店街などの衰退	228	14.5%
公共交通の利便性の低下	380	24.1%
地域を支えるコミュニティの衰退	361	22.9%
産業の衰退や雇用機会・職業の選択肢の減少	630	40.0%
地域の伝統や文化の喪失	121	7.7%
文化・芸術、観光、スポーツなどを楽しむ機会の減少	70	4.4%
医療や介護などの福祉施設の減少	752	47.7%
社会保障や教育などの公的サービスの低下	798	50.6%
地域の将来を支える若者や女性の更なる県外流出	630	40.0%
わからない	16	1.0%
その他	54	3.4%



分析結果（自由意見）

A票・B票共通 自由意見の総括

政策別に分類すると、「社会の変革に即応した行財政運営」に関する意見が109件と最も多く、次いで、「その他」として政策に分類できない意見が67件、「いきいきと共に暮らせる福祉環境づくり」に関する意見が61件、「子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり」に関する意見が53件と多く、行財政運営や福祉環境、子育て環境への関心が高いことが分かった。「その他」に分類された意見は、主に、市政全般に関する意見や、今回のアンケートに関する意見があった。

意見の少なかった政策分野は、「基本的人権を尊重する社会の確立」に関する意見が0件、「水を大切にすまちづくり」及び「人が行きかう多彩な交流の促進」に関する意見がそれぞれ2件となった。

分野別の主な内容は以下の通りです。

- ・「社会の変革に即応した行財政運営」に関する意見は、主に、市職員の育成に対する要望やその行政サービスの曜日や時間帯の拡充に関する意見などがあった。
- ・「いきいきと共に暮らせる福祉環境づくり」に関する意見は、主に、高齢者福祉の充実や高齢化社会に対する不安や、生活保護費の適正給付に関する意見などがあった。
- ・「子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり」に関する意見は、主に、保育施設や学童などの子育て環境の充実や、子育てに関する経済的援助の充実に関する意見などがあった。
- ・「快適で人にやさしい都市交通の形成」に関する意見は、主に、自転車道の整備に関する意見や中心市街地と郊外のアクセスの整備に関する意見などがあった。
- ・「地域を支える産業の振興・地域経済の活性化」に関する意見は、主に、若者定住を見据えた就業機会の増加のための企業誘致や、商店街の活性化に関する意見などがあった。
- ・「参加・協働で進めるコミュニティを軸としたまちづくり」に関する意見は、主に、市の広報活動の拡充や、市民協働機会の拡大に関する意見などがあった。
- ・「安全で安心して暮らせる環境の整備」に関する意見は、主に、交通マナーの改善に関する意見などがあった。

